

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	44.4%→60%	自校A B層の割合	41.2%→60%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律を統一し、徹底する。 ・対話的な学びを中心にした学習を工夫する。 ・学年で教材研究を行い、実践する。 ・児童の反応や振り返りから、自身の指導を振り返る。 ・お互いに授業を見合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベーシックドリル診断テストを学期ごとに1回実施する。 ・週に1回、朝学習としてミライシードやベーシックドリルに取り組む時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の家庭学習週間を設定し、保護者にも児童の家庭学習へ目を向けさせる。 ・自主学習ノートの取り組み。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・反復学習で、児童自身が成長を実感できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミライシードや個別プリントで苦手分野の復習を行う。 ・放課後補習教室を利用し、基礎的な学力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後補習教室への参加を呼び掛ける。 ・宿題を忘れた児童にも必ず取り組ませ、家庭で学習する習慣を身に付けさせる。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査の児童質問紙「国語・算数の授業の内容はよくわかりますか」 <p>肯定的な回答がそれぞれ60%以上。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベーシックドリル診断テストの平均正答率が70%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査の児童質問紙「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」 <p>30分～60分以上の回答が70%以上。</p>